



# 神内小だより

紀宝町立神内小学校  
令和5年5月25日発行

「すべての子どもが互いに認め合い、安心して夢中に学び合える学校」

運動会特集号

## 【運動会スローガン】

あきらめず 最後まで やりきろう ～絆をふかめよう～

5月27日の運動会に向けて、今年も5・6年生が3つの『運動会プロジェクトチーム』を立ち上げ、自分たちの運動会を自分たちで作りあげる活動を進めてきました。この5・6年生の活動が運動会を成功させたいという目的に向かって、神内小学校全員（子ども達も教職員も）を一つにつなげる原動力になっています。今回は、プロジェクトチームの取組を『運動会プロジェクト通信』（5・6年担任発行）より紹介します。【次ページをご覧ください！】運動会への子ども達の思いや活動の様子をお伝えできればと思います。そして、運動会当日は、これまでの子ども達の取組の成果をじっくりとご覧ください。



## 6月

### の予定

- \* 1日（木）お話し会・街頭指導・学校運営協議会・稲作体験草取りタニシ駆除予備日※
- \* 2日（金）心臓検診（1・4年生）（※5/31実施予定）
- \* < 3日（土）ほたる灯ろう展：1～4年生出品（ふるさと資料館前前広場） >
- \* 6日（火）体力テスト
- \* 7日（水）～9日（金）職場体験（矢淵中学校より来校）
- \* 12日（月）プールそうじ・サポートスクール開始（希望者のみ）・街頭指導
- \* 14日（水）公開授業研究会
- \* 19日（月）プール水泳開始
- \* 22日（木）耳鼻科検診（1・4年生）・子ども会集会・食教育（5・6年生）
- \* 23日（金）集金袋配付
- \* 28日（水）公開授業研究会

（講師招聘研修のため、公開授業（5限目）の5年生以外は13：05下校）



**命を守る学習**・・・先日は、引渡し訓練へのご協力ありがとうございました。

5/12避難訓練（地震・津波を想定）を実施しました。避難するときに気をつけること「お・は・し・も」と「見て・聴いて・考えて行動する」ことを再確認しました。想定外の事態やいつ・どんな時地震が起きるかわからないので、どんな時も、周りの様子や他の人の動きをよく見て、注意深く情報を聴いて、判断し行動することが、「命を守る行動」となることを伝えました。お家の方でも、地震が起きた時、どう行動すればよいか、判断して行動できるよう、ご家族でお話をしておいてください！

## 運動会プロジェクト通信

5・6年担任

あきらめず 最後まで やりきろう ～絆をふかめよう～

子ども会が中心となってみんなの思いを聞きとり、みんなの気持ちがスローガンを考えました。

昨年度まで複式学級として3年間同じ教室で過ごしてきた5・6年生が運動会プロジェクトチームでまたいっしょに活動することになりました。運動会プロジェクトは、5・6年生が中心となって、自分たちの運動会を盛り上げる方法を考えたり、自分たちで競技内容を考えたり、みんなに呼びかけたり、自分たちの運動会を自分たちで作りあげる活動です。その様子を紹介します。

### ①「全校ダンス&高学年競技チーム きょうダン7」

リーダー 倉本るき

副リーダー 尾崎りょうま

小麦きさら、高須ともな、杉浦いつき、鈴木すばる、岩田こたろう

(ダンス)

- ・ 昼休みに高学年だけでダンス練習をする。
- ・ 全校練習の日程を決める (全6回)
- ・ 全校練習の際に各学年の前で踊り、見本となる。
- ・ 練習に来てくれた子にはシールをプレゼントする。

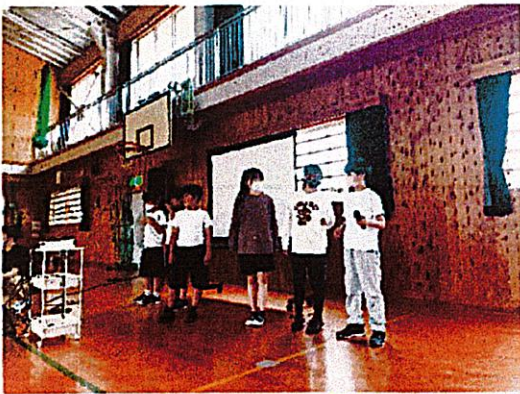
リーダーのるきさんの、全校に気合の入る「がんばるぞ!」の声は頼もしさが伝わってきました。

(高学年競技)

- ・ 競技名・競技内容を決める。
- ・ 借り物の内容を考える。
- ・ 入場曲・退場曲・競技中の音楽を決める。



各クラスに練習会のお知らせをしたり、5年生二人が作ってくれたシールの台紙を配ったりしました!



練習会の放送をすること、前で説明すること、何から何まで緊張です。りょうまさんの、第一回目の全校ダンスのマイクをもって進める姿は立派でした。先生たちに、「これは、こうすればいいよね？」と確認をとりながらやっていました。二回目以降のダンス練習も、自分たちで方法を臨機応変に考えながら6年生が中心になってすすめていくのには、驚きました。こたろうさんも、ダンスを覚えていない低学年の子のところに行って必死に教えていましたね。すばるさんのダンスは、毎回！本当にキレがあって、バッシー先生の言っていたような動きをしっかりと、いつでも一生懸命。それが全体を引っ張ってくれています！



練習後に「きょうダン7」からシールがもらえます！シールを楽しみにしている低学年の子たち。



話し合いのときには、てきばきと話し合いを進め、次々すすめることができるきさらさん。なにか、話が途中でそれていけば、必ず軌道修正してすすめてくれるともなさん。今まで行事ではいつきさんが全体をしきる場面もよくありましたが、今回は何か困ったときにはいつでも頼れる存在でささえていることが伝わってきます。

②「応援チーム 神内インフィニティ」

リーダー 三谷なおと

副リーダー 中本かずと

更谷わどう 山本くいーんるう 小山あらた 大石あきひと 尾崎あいな

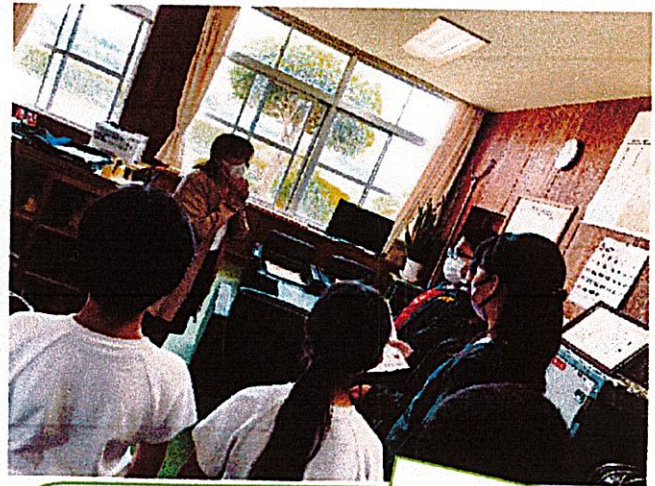
- ・みんなが使う応援グッズを決める→小さな旗  
この旗にスローガンなどを各個人で書いて、応援することになります。
- ・大きな旗作り



今回、5年生で唯一副リーダーになったかずとさん。みんなの前で緊張もしたでしょうが、リーダーのなおとさんが欠席のときもがんばって発表していました！



カタログを見ながら、あきひとさん、あらたさんが学校で買ってもらったらいくらかかるのか計算していました。何年が何色と決まったので、それを校長先生にお願いに行くために、るうさんが丁寧に必要事項を書き直しているところです。



校長室に行って、リーダーのなおとさん、わどうさんがどういった目的で買ってほしいのか、しっかり伝えていました！あきひとさん、あらたさんも金額のことを校長先生に伝えていました。



各クラスに、応援グッズの説明に行きました。緊張したと思いますが、しっかり伝えられていました。あいなさんも、しっかりるうさんと役割分担して、自分の言葉を覚えて言っていました。



応援の旗です。

この旗にも大きなストロングスターが登場します。みんなで黄色をぬって、まわりにみんなのやる気が出る言葉をみんなで書きたいというわどうさんの強い思いがあります。



～神内インフィニティが提案した旗作り～

・わどうさんたちがこだわっていた、5・6年生全員の言葉をのせること、19人全員でストロングスターの色をぬることを、みんなでやり遂げました！



みんなで、慎重に黄色をぬっていきました。19人が交代をしながら、丁寧に丁寧に。終わったあと、「イメージ通り」と、わどうさんは満足していました。「みんなで」に、こだわった気持ちも必ず、見に来てくれた人たちにも伝わるはず。

### ③「盛り上げチーム ストロング65」

リーダー 椿原かいせい

副リーダー 中前かんだ

坂地しょうせい、野地てっぺい 畠としのり

- ・大きなシンボルをつくる→星☆
- ・そのシンボルの横に貼る一人ひとりの目標を書いてもらう。
- ・全校集会をもって、リレーの班で目標を書く。



リーダーのかいせいさんには、全校がひとつにつながって（スローガンにもあるように）絆がふかまるようなシンボルをつくって、その横に全員の目標を貼りたいという思いがしっかりあるようです。

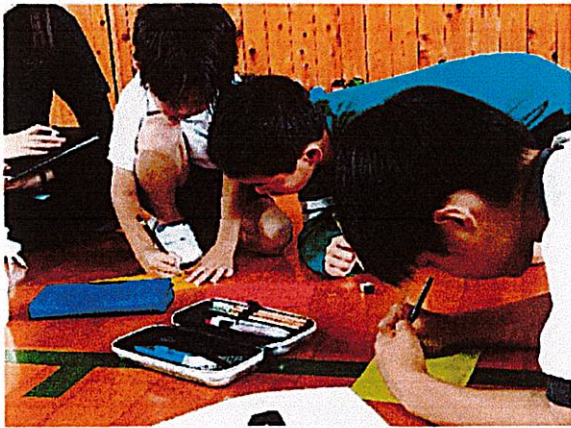
大きなシンボル 今年は星☆になったようです。しょうせいさんが、「星はよく晴れた日にしかでないから」という理由を言ってくれたそうです。しょうせいさんは、よくみんなをまとめてくれていました。



少しずつ仕上がってきました。まずは、5・6年生にお披露目です。みんな驚いていました。星をもつてっぺいさんと、としのりさんもとっても満足した表情をしています。大変な作業でした。休み時間も佐藤先生とみんなは図工室にこもっていました。たくさん案を出してくれたとしのりさん。6年生に遠慮せず積極的に取りくんできてっぺいさん。5年生もよくがんばっていました！



全校にお披露目しました。しょうせいさんと  
かんとさんが出てきたとき、  
「かわいーーーー！！」と歓声が上がって  
いましたね。



かんとさんは、1年生の子が目標を書くときに  
いっしょに考えてくれていました。寄り添い方  
が素敵です。

